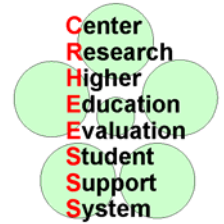


# 週刊センターニュース No.20



第20号(2004年7月26日)毎週月曜日発行  
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL: [http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 金沢大学フォーラムin大阪 開催まであと2週間です。

当センター企画の「金沢大学フォーラムin大阪」開催が迫ってまいりました。センター教員による京阪神地区の予備校、高校訪問に加え、京阪神地区出身の学生に母校へのPR葉書を書いてもらうなど、来場者を増やすべく努力をしております。

当大学の教育・研究の成果の一端を大阪の地で披露し、併せて、高校生等の進路相談の場も設ける、この催しへのご協力を、教職員の方々に、強くお願いします。

具体的には、大学HPのトップページにあります

[http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad\\_koho/event/shosai/0809.html](http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/event/shosai/0809.html)

をご確認いただき、特に京阪神地区在住の大学教育関係者、あるいは本学卒業生等にメール等でお知らせいただき、あるいは、当センターが用意しておりますポスターの送付、また、同じく当センターが用意しておりますPR葉書の宛名書き等をお願いします。

詳細は 青野 角間 内線5774 [aono@sgkit.ge.kanazawa-u.ac.jp](mailto:aono@sgkit.ge.kanazawa-u.ac.jp)  
までお問い合わせください。

## 共同学習会のご案内

第31回(大学教育開発・支援センター共同学習会と総合メディア基盤センター  
イラーニング研究会との第2回合同研究会として開催します。)

日時: 7月28日(水)5時限目(16:10~17:40)

場所: 角間キャンパス総合教育棟2階 大会議室

講師: 堀井祐介(大学教育開発・支援センター)

題目: 研修講座「IT時代の著作権問題」参加報告

内容: 6月17日(木)にメディア教育開発センターで開催された研修講座

「IT時代の著作権問題」に参加し、学んできた著作権に関する基本的な知識やITを活用した教育を実施するに当たり留意すべき著作権の知識などについて紹介させていただきます。学内での著作権に対する意識を高めるきっかけになれば幸いです。

第32回 日時: 8月3日(火) (13時 ~ 15時)

場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室

講師: 早田幸政(大学教育開発・支援センター)

題目: 「高等教育学会参加報告 - 大学の質保証を中心に - 」

## 日本教育法学会定期総会参加レポート

去る5月30日、31日の両日、神戸大学発達科学部で開催された日本教育法学会2004第34回定期

総会に参加した。「教育における公共性の再構築」を全体テーマとして、初日に自由研究発表（発表 9 件）、研究総会（報告 2 件）が、二日目に分科会（報告 9 件）があった。これらの発表、報告のなかから、大学評価、国立大学法人法に関連した 3 つについて、簡単に報告させていただく。

松元忠士氏（立正大学）の「大学の学問と教育の評価、認証制度について - とくにドイツの制度を中心に」（自由研究発表 C(2)）では、ドイツの大学評価、認証制度について、制度の趣旨、EU の動きも絡めた認証機構設立の経緯、具体的な認証手続き及び判定基準、6 つの認証機関などについて報告がなされた。細井克彦氏（大阪市立大学）の「国立大学法人法案成立の過程における評価問題」（自由研究発表 C(3)）では、国立大学法人法成立過程について、国会での具体的な質疑を引用し、衆参両院で 23 もの附帯決議がついた点、憲法 23 条との関わりなどにも触れながら、国立大学法人法の問題点を述べられた。世取山洋介氏（新潟大学）の「国立大学法人法と学問の自由」（第二分科会報告(3)）では、「国立大学法人法により学問の自由が危機にさらされているのか」との問題提起がなされた後、「学問の自由」の「社会契約」における位置付け、「学問の自由」の構造、「学問の自由」と法人格の有無との無関係性、国立大学法人法に於ける国による「新しい統治」論（「主人 - 代理人」理論）、国立大学法人法制における高等教育法制の「液状化」（高等教育機関における複数の意志決定機関間の関係が明確でない）などについて報告が行われた。特に、この報告での、世取山氏の「大学評価と財政配分が結びつくと、嘘をつくことが恒常化する」、「（新しい統治における）「主人」は作らしてはいけない」、「評価の仕組みが決まれば、流れは見えてくる」という発言は印象的であった。

3 つの発表・報告とも、大学を取り巻く現状からして、非常に興味深い内容であり、今後、大学教育開発・支援センターとして、大学教育についての研究を進めていく上で、参考になる部分が、少なからずあるように思われた。（文責 堀井）

## **共同学習会への話題提供のお願い**

大学教育開発・支援センターでは、昨年度末より教育改善や法人化後の大学環境の変化など、多様な視点から、教職員の間で自由に議論できる場を提供すべく共同学習会を企画してきました。今後も皆様のご意見やご希望を反映させながら企画を進めて参ります。例えば、授業作りや FD 関連の話題なども共同学習会で重点的に取り上げていきたいと考えております。日常的な教育実践についてご紹介いただけたらと思います。共同学習会への話題提供をお願いいたします。

## **角間ランチョンセミナー開催記録**（7月20日～7月23日分）

2004.7.20 「食事で貧血改善」黒川 千佳（金沢大学付属病院）

2004.7.21 「大学生活に満足していますか？—大学生生活実態調査について—」

青野 透（大学教育開発・支援センター）

2004.7.23 「「かなざわまち塾 act」9月19日（日）開催に集まろう」

松井 裕昭（工学部1年）、山下 綾香（教育学部1年）

## **センター教員活動記録**（7月20日～7月26日分）

2004.7.21-26 アジアフォーラム in 石川 2004 へ参加（主催：石川県、日航財団）

会場：石川県青少年総合研修センター（堀井）

2004.7.24 京都大学高等教育研究開発推進センター第65回公開研究会へ参加

「徳島大学工学部知能情報工学科におけるカリキュラム・授業改善の試み 創成型科目の紹介」会場：京都大学（西山 公費出張）